

研究の成果

促成栽培におけるシネンシス系デルフィニウムの品種特性

1. はじめに

シネンシス系は、品種改良や栽培方法の改善により、近年生産面積が伸びている系統です。そこで、シネンシス系品種の促成栽培での品種特性を調査しました。

2. 試験方法

「ハイランドブルー」(以下「HB」)他7品種を供試し、幅80cmのベットに2002年9月20日に、200穴セル成型苗を20cm×20cmの4条植えで定植しました。元肥は窒素、リン酸、カリを1a当たりそれぞれ1.2kg施用し、追肥は液肥で1a当たり各成分1kg施用しました。10月10日より日長延長法で16時間の電照処理を行い、冬季最低夜温を15℃で管理しました。調査は1区20株2反復としました。

3. 試験結果

1番花の切り花日は、「ピンクミストラル(以下「PM」)」、「HB」、「ラベンダーミストラル(以下「RM」)」および「スターミストラル(以下「SM」)」が早く、定植後約80日でした(図1)。「ブルーミストラル(以下「BM」)」と「ハイランドベル(以下「HR」)」はこれらに次いで早く、「スカイミストラル(以下「KM」)」と「スノーミストラル(以下「NM」)」は最も遅く定植後約95日でした。また、1番花の切り花長と上物切り花率は、切り花日の遅い品種が優れる傾向となりました(表1)。

表1 シネンシス系デルフィニウムの促成栽培における1番花および2番花の収量、切り花品質

品種名	花色	切り花長 (cm)	切り花重 (g)	節数 (節)	分枝数 (本)	上物切り花率 ^z (%)	切り花本数 (本/株)	その他
ハイランドブルー (HB)	1番花 鮮青	68.7	34.3	5.0	4.6	94.9	-	
	2番花	65.6	24.7	8.5	6.4	68.6	2.7	
ピンクミストラル (PM)	1番花 紫桃	62.0	19.3	4.1	3.8	81.1	-	
	2番花	63.3	20.3	7.8	5.6	57.5	2.6	
スターミストラル (SM)	1番花 鮮青/芯白	67.5	31.9	4.4	4.4	100.0	-	
	2番花	52.6	21.0	7.8	6.5	8.6	3.3	
ラベンダーミストラル (RM)	1番花 藤色	65.9	32.3	4.5	4.4	97.6	-	
	2番花	66.9	30.2	8.5	7.6	85.1	2.1	
ブルーミストラル (BM)	1番花 鮮青	74.4	45.6	7.5	6.6	100.0	-	
	2番花	56.9	19.3	7.6	5.2	33.3	2.6	
ハイランドベル (HR)	1番花 鮮青	68.8	22.8	5.5	4.2	92.3	-	花径が小さい
	2番花	60.7	17.9	7.6	5.3	60.6	2.5	
スカイミストラル (KM)	1番花 水色	83.9	32.8	8.2	7.7	97.5	-	
	2番花	74.0	27.1	11.6	8.8	97.4	2.2	
スノーミストラル (NM)	1番花 白	77.4	30.9	8.7	7.3	97.4	-	
	2番花	64.8	17.1	9.6	5.7	78.1	3.7	

注)z: 切り花長60cm以上の切り花の割合

表中の数値は、切り花重10g以上でスプレー仕立ての切り花の平均、切り花調査は5月19日まで

一方、2番花の切り花時期は「PM」、「HB」、では1番花同様早い傾向にありましたが、「RM」と「SM」は、これらより遅れました(データ省略)。また、「BM」および「SM」の2番花の切り花品質は、1番花に比べて著しく劣りました(表1)。

4. おわりに

促成栽培では1番花の収穫時期が集中するため、早生の品種(「PM」、「HB」等)や晩生の品種(「KM」、「NM」)を組み合わせた作付けにより労働分散を図ることが必要です。また、品種により1番花と2番花では切り花品質に違いがみられることから、今後は日長処理時間や1番花収穫後の温度管理等品種に応じた栽培方法を検討します。

(園芸部 宮前治加)

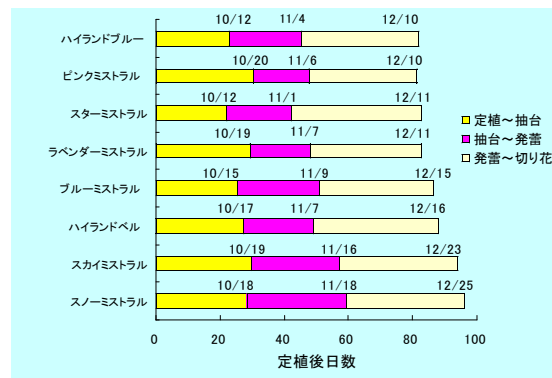


図1 シネンシス系デルフィニウムの品種と抽台、発蕾および切り花日